

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 繁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,532	5.1	196	△6.5	101	△30.8	55	△20.0
24年3月期第2四半期	4,313	8.4	210	△58.7	146	△56.6	69	△71.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △41百万円(-%) 24年3月期第2四半期 △123百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.97	—
24年3月期第2四半期	4.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,600	5,933	46.8
24年3月期	12,886	6,255	48.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,902百万円 24年3月期 6,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△3.4	1,200	4.7	1,100	△6.2	620	11.4	44.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名)、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	14,200,000株	24年3月期	14,200,000株
25年3月期2Q	184,556株	24年3月期	184,539株
25年3月期2Q	14,015,459株	24年3月期2Q	14,015,477株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
生産、受注及び販売の状況	14

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年12月3日（月）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジア地域の自動車及びタイヤメーカーの設備投資が、前連結会計年度に引き続き堅調に推移しております。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、燃料電池や電気自動車等の環境に配慮した新しい研究開発分野への集中が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、製造ライン用の試験装置であるバランシングマシン及びシャフト歪自動矯正機と共に、研究開発用の試験装置である各種の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーから製造ライン向けタイヤ関連試験機及び国内大手自動車部品メーカーより電気サーボモータ式振動試験機を中心に56億3千4百万円の受注を獲得し、当初の目標を達成致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、45億3千2百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は1億9千6百万円（前年同四半期比6.5%減）、経常利益は1億1百万円（前年同四半期比30.8%減）、四半期純利益は5千5百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

売上高につきましては、客先への納品検収が第2四半期から第3四半期にずれ込んだ物件が一部あり、当初の予想を下回りましたが、当社グループは、例年下半期に製品の完成検収が集中する傾向が強いことから、ほぼ予定通りの進捗度となりました。

利益面につきましては、外貨建売上高の割合が高いことから、円高ドル安等により売上総利益率が低下したことや為替差損が発生したため、当初の予想を下回りました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカー向けバランスングマシンを中心として、受注高及び売上高につきましては堅調に推移しました。特に電気サーボモータ式振動試験機の営業を積極的に展開しており、予算を大幅に上回る受注を獲得したことから、売上高は36億8千6百万円（前年同四半期比16.5%増）、セグメント利益（経常利益）は2億4千3百万円（前年同四半期は9百万円の損失）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

前連結会計年度から繰り越した受注残高が少なかったことや受注高の減少により、売上高は1億6千7百万円（前年同四半期比57.2%減）、セグメント損失（経常損失）は7千7百万円（前年同四半期は7百万円の利益）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注が堅調に推移したことや大手タイヤメーカー向けバランスングマシンが予定通りに検収されたものの、一部原価率の高い案件があったことなどにより、売上高は4億3千5百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益（経常利益）は6千8百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

〔韓国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注が一巡したことなどから、売上高は6億5百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益（経常利益）は1億3千4百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。

〔中国〕

中国からの受注が堅調に推移していることや中国での現地生産も増加傾向にあるものの、手数料収入が減少したことなどから、売上高は2億4千1百万円（前年同四半期比13.8%増）、セグメント利益（経常利益）は1千2百万円（前年同四半期比54.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、79億8千8百万円（前連結会計年度末比6億5千0百万円減）となりました。これは、売上債権の回収や借入の実行により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比4億8千1百万円増）したものの、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比10億4千6百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、46億1千2百万円（前連結会計年度末比3億6千4百万円増）となりました。これは、本社第三工場の改築に伴い建設仮勘定が増加（前連結会計年度末比3億1千4百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、45億1千6百万円（前連結会計年度末比3億2千9百万円減）となりました。これは、運転資金を調達したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比4億2千万円増）したものの、仕入が減少したため支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比6億8千7百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、21億4千9百万円（前連結会計年度末比3億6千5百万円増）となりました。これは、長期運転資金を調達したことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比3億8千6百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、59億3千3百万円（前連結会計年度末比3億2千1百万円減）となりました。これは、期末配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比2億2千4百万円減）したことや円高ウォン安等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比6千3百万円減）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により3億6千0百万円増加し、投資活動により3億7千2百万円減少し、財務活動により6億9千4百万円増加した結果、現金及び現金同等物は前第2四半期連結累計期間に比べ6億5千9百万円増加し、19億6千4百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3億6千0百万円の収入（前年同四半期比1億6千9百万円の収入減少）となりました。これは、仕入債務の減少により6億8千3百万円の支出となったものの、売上債権の回収により10億3千8百万円の収入となったことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、3億7千2百万円の支出超過（前年同四半期比2億9千5百万円の支出増加）となりました。これは、定期預金の満期が到来したことに伴い定期預金の払戻による収入が4億2千0百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が3億7千8百万円あったことや本社第三工場の改築に伴う有形固定資産の取得による支出が3億1千5百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6億9千4百万円の収入（前年同四半期は3億5千1百万円の支出超過）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が3億4千5百万円あったものの、長期運転資金の調達のため長期借入れによる収入が9億円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,680,671	3,161,747
受取手形及び売掛金	3,349,950	2,303,513
商品及び製品	204,645	159,009
仕掛品	1,411,021	1,479,289
原材料及び貯蔵品	514,841	472,612
繰延税金資産	260,059	277,468
その他	224,334	139,490
貸倒引当金	△6,956	△4,818
流動資産合計	8,638,568	7,988,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,577,082	1,412,324
機械装置及び運搬具	183,521	170,963
土地	1,669,963	1,668,852
建設仮勘定	1,406	315,518
その他	152,394	127,766
減価償却累計額	△1,198,737	△1,025,245
有形固定資産合計	2,385,631	2,670,180
無形固定資産		
のれん	35,281	—
その他	56,773	54,426
無形固定資産合計	92,054	54,426
投資その他の資産		
投資有価証券	257,092	191,051
長期貸付金	34,964	32,011
繰延税金資産	106	99
保険積立金	1,457,629	1,553,951
その他	45,076	146,590
貸倒引当金	△24,323	△35,810
投資その他の資産合計	1,770,544	1,887,895
固定資産合計	4,248,230	4,612,503
資産合計	12,886,799	12,600,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,285,056	1,597,418
短期借入金	450,000	870,000
1年内返済予定の長期借入金	689,432	857,498
未払法人税等	337,205	46,534
賞与引当金	131,798	162,218
製品保証引当金	183,812	204,491
前受金	514,194	485,294
その他	255,059	293,467
流動負債合計	4,846,558	4,516,922
固定負債		
長期借入金	1,271,996	1,658,184
繰延税金負債	180,012	144,879
退職給付引当金	194,711	204,333
役員退職慰労引当金	133,423	138,223
資産除去債務	4,242	4,289
固定負債合計	1,784,385	2,149,908
負債合計	6,630,944	6,666,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,069,853	4,845,189
自己株式	△150,946	△150,957
株主資本合計	6,878,406	6,653,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,245	49,599
為替換算調整勘定	△737,691	△801,318
その他の包括利益累計額合計	△650,446	△751,719
少数株主持分	27,895	31,971
純資産合計	6,255,855	5,933,984
負債純資産合計	12,886,799	12,600,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	4,313,977	4,532,206
売上原価	2,885,157	3,028,536
売上総利益	1,428,819	1,503,669
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	103,725	98,443
貸倒引当金繰入額	6,695	9,935
役員報酬	84,600	83,190
給料手当及び賞与	255,167	254,895
賞与引当金繰入額	67,792	54,632
退職給付費用	13,871	18,004
役員退職慰労引当金繰入額	4,667	4,800
運賃	127,252	140,139
減価償却費	11,089	11,157
研究開発費	15,214	3,917
その他	528,736	628,162
販売費及び一般管理費合計	1,218,812	1,307,278
営業利益	210,006	196,391
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,935	26,481
その他	22,874	15,405
営業外収益合計	47,810	41,886
営業外費用		
支払利息	14,671	13,343
持分法による投資損失	1,058	7,936
売上債権売却損	3,436	5,099
支払手数料	18,791	26,408
為替差損	69,021	78,748
保険解約損	269	1,809
その他	3,594	3,284
営業外費用合計	110,843	136,631
経常利益	146,972	101,646
特別損失		
固定資産除却損	154	175
特別損失合計	154	175
税金等調整前四半期純利益	146,818	101,471
法人税、住民税及び事業税	124,322	73,882
法人税等調整額	△49,431	△31,734
法人税等合計	74,891	42,147
少数株主損益調整前四半期純利益	71,927	59,324
少数株主利益	2,386	3,678
四半期純利益	69,540	55,645

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,927	59,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,342	△37,645
為替換算調整勘定	△194,278	△63,511
持分法適用会社に対する持分相当額	206	283
その他の包括利益合計	△195,414	△100,874
四半期包括利益	△123,487	△41,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,815	△45,626
少数株主に係る四半期包括利益	1,328	4,076

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	146,818	101,471
減価償却費	33,445	29,963
のれん償却額	35,281	35,281
持分法による投資損益 (△は益)	1,058	7,936
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,699	9,969
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,569	30,561
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,869	20,550
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,463	9,588
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,667	4,800
受取利息及び受取配当金	△24,935	△26,481
支払利息	14,671	13,343
為替差損益 (△は益)	27,025	37,892
売上債権の増減額 (△は増加)	1,709,144	1,038,741
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△524,223	2,708
仕入債務の増減額 (△は減少)	△424,699	△683,371
前受金の増減額 (△は減少)	256,297	△16,654
その他	△43,370	112,821
小計	1,292,041	729,123
利息及び配当金の受取額	26,330	23,564
利息の支払額	△14,925	△13,107
法人税等の支払額	△773,762	△378,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	529,683	360,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△413,290	△378,425
定期預金の払戻による収入	439,022	420,037
有形固定資産の取得による支出	△6,982	△315,109
保険積立金の積立による支出	△112,613	△108,079
保険積立金の解約による収入	22,176	9,946
その他	△5,342	△582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,030	△372,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	420,000
長期借入れによる収入	300,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△354,458	△345,746
社債の償還による支出	△100,000	—
自己株式の取得による支出	△28	△10
配当金の支払額	△350,291	△279,690
少数株主からの払込みによる収入	2,850	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351,927	694,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,108	△47,974
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	60,616	634,989
現金及び現金同等物の期首残高	1,244,045	1,329,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,304,662	1,964,591

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	2,969,191	390,440	432,627	355,710	153,141	4,301,112	12,864	4,313,977
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	195,217	—	47	241,439	59,215	495,920	43,461	539,382
計	3,164,409	390,440	432,675	597,150	212,356	4,797,032	56,326	4,853,359
セグメント利益 又は損失 (△)	△9,637	7,390	116,959	150,173	26,873	291,760	19,496	311,257

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	291,760
「その他」の区分の利益	19,496
セグメント間取引消去等	△164,284
四半期連結損益計算書の経常利益	146,972

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	3,381,305	166,379	435,357	319,719	197,266	4,500,029	32,177	4,532,206
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	305,392	677	222	285,676	44,445	636,415	19,226	655,641
計	3,686,698	167,057	435,580	605,395	241,712	5,136,444	51,403	5,187,847
セグメント利益 又は損失 (△)	243,129	△77,818	68,184	134,531	12,332	380,359	1,184	381,544

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	380,359
「その他」の区分の利益	1,184
セグメント間取引消去等	△279,897
四半期連結損益計算書の経常利益	101,646

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,288,159	+3.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	377,434	+152.8	日本(国際)
材料試験機	167,057	△57.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	439,016	+14.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	257,453	+16.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	4,529,119	+4.7	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,262,514	△22.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,166,084	+85.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	420,394	△43.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	475,654	+26.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	310,182	+12.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,634,831	△9.4	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第 2 四半期連結累計期間末（平成24年 9 月30日）

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,027,200	△28.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,734,366	+43.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	316,258	△42.7	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	745,310	+43.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	87,879	△40.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,911,015	△14.3	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第 2 四半期連結累計期間（自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日）

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,291,736	+3.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	376,935	+152.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	167,057	△57.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	439,020	+17.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	257,455	+16.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	4,532,206	+5.1	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。